

平成19年2月6日
宗像市教育委員会

1 教育課程の編成

① 総合的な学習の時間

- 1. 2学期に3校合同研修会の場で総合的な学習の時間の目標・内容領域を作成するとともに、「ふるさと」「英語活動」「セレクト」「マイドリーム」の1学期分の単元指導計画を作成した。
- 3学期には「英語活動」の単元指導計画の見直しと教具づくり、「ふるさと」の学校間の共通単元と選択単元を明らかにする予定。
- 次年度は、残りの単元指導計画の作成を行う予定。

② 教科・領域

- 1. 2学期に3校合同教科等部会の場で、小・中の教科等における基礎的・基本的な知識・技能の確認を行った。
- 3学期は、各学年の単元指導計画における評価規準や手だてに係る見直しと、各学年で確実に身に付ける基礎的・基本的な知識・技能を明らかにする予定。
- 次年度は、各教科の基礎的・基本的な知識・技能に係る目標・内容の系統表を作成する予定。

2 指導体制（小学校高学年からの一部教科担任制等）

- 中期を中心に兼務教員の授業や学年間の交換授業による一部教科担任制を実施した。
- 次年度は、教科担任制を実施して行われる教科選定の根拠を明らかにするとともに、教科担当者の移動等が容易に行われる週時制の検討を行う予定

3 指導方法の工夫

- 小・中学校の目標の共通理解を踏まえ、「めあて」と「まとめ」を生み出す学習指導に係る研修を実施し、日常化に努めた。
- 次年度は、各教科等ごとに積極的な生徒指導の機能を生かした指導方法ガイドブック（仮称）を作成し、管理職による教室訪問指導等の場で活用する予定。

4 運営組織の工夫

- 3校校務会議や小中一貫教育研究協議会（学校運営評議委員会）を設置し、学校運営に係る内部・外部評価を行うとともに、評価結果を踏まえ、次年度の3校の重点目標や評価項目を共有化し、学校経営計画を作成した。
- 次年度は、学校運営評議委員会への働きかけを3校校務会議が主体となって行う予定。

5 計画的・継続的な生徒指導、特別活動、道徳教育等

- 今年度は、この項目については十分な検討がされなかった。
- 次年度は、小・中間の生徒指導部会や特別活動や道徳の時間のもち方について検討する予定。